

授業科目

視覚機能検査学II

担当教員名 村田 憲章、前田 史篤、進藤 真紀 (非)	対象学年	2	対象学科	視機
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○	○	

授業の概要

検査方法とその結果の意義と評価について理解する。また、疾患別の検査法についても学習する。データの評価、疾患別の検査法とその注意点、検査のコツと落とし穴に重きを置いて学ぶ。

授業の目的

眼科検査（出力系）より得られた検査結果の意味とそれに対応する統合系検査の評価について理解する。

学習目標

1. 眼位や両眼視の異常を分析するために必要な眼科検査が計画できる。
2. 統合系と出力系検査の対応関係が理解できる。
3. 眼科検査のデータを正しく読み取ることができる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	ガイダンス 統合系検査と出力系検査、日常両眼視の成立要件	講義	進藤 真紀
2	両眼視機能検査における両眼分離の原理	講義	進藤 真紀
3	立体視検査	講義	進藤 真紀
4	網膜対応検査	講義	進藤 真紀
5	大型弱視鏡	講義	前田 史篤
6	基礎眼位ずれ、顕性の斜視角と全偏位量	講義	村田 憲章
7	小括1	講義	前田 史篤
8	眼位検査	講義	村田 憲章
9	誘発眼位試験 (patch test, +3.00 D 付加試験)	講義	村田 憲章
10	回旋偏位に対する検査 ひっぱり試験	講義	進藤 真紀
11	眼球運動検査	講義	進藤 真紀
12	prism adaptation testとeat up	講義	村田 憲章
13	小括2	講義	前田 史篤
14	両眼単一視野検査、複像検査	講義	前田 史篤
15	まとめ	講義	前田 史篤

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	視能学 第2版	丸尾 敏夫、久保田 伸枝、深井 小久子 (編) 他	文光堂	2011年	18,000円+税	前年までに購入済み
	眼科検査ガイド 第2版	根木 昭 (監)、飯田 知弘、近藤 峰生 (編) 他	文光堂	2016年	24,000円+税	前年までに購入済み
参考書						
その他の資料						

評価方法

定期試験 70%
小試験 20%
提出物 10%

履修上の留意点

再試験、追試験は必要があれば原則として1回のみ実施する。
締め切りを過ぎた提出物は原則として受け取らない。

オフィスアワー・連絡先

毎週水曜日 昼休み
P201
murata@nuhw.ac.jp